

高齢者及び年金受給者への支援等について / 上地義則

『高齢者及び年金受給者への支援等について』ということで、前回、一般質問でも話したわけなんですけど、全く同じような感じなんですけど、この中で、現在、子ども手当とか給食費の無償化、子育て世帯への支援はだいぶ充実してきていますが、これまで伊平屋村を支えてきた高齢者の方々に対して、なんらかの補助、支援策などがないかということで、考えはあるかどうかを前回伺ったわけで、その時、住民課長からの答弁で、新垣課長でしたけど、その時、いろいろ答弁をいただいた中で、老人クラブ、団体への補助金など、敬老会の開催の時に祝い金など、いろいろ話されていて、「今後は第 5 次伊平屋村総合計画、第 5 期伊平屋村高齢者保健福祉計画に沿った住民サービスの展開を行っていきます」と答弁はいただいております。

その中で、僕が前回質問した中で、副村長に答弁を求めたところ、敬老年金という言葉が出てきて、それについてその後進展はあるのかを伺いたと思います。よろしくをお願いします。

■議長（金城信光） 答弁、新垣晃弘福祉保健課長。

■新垣晃弘福祉保健課長 上地議員の質問にお答えします。今ありました高齢者向けのサービスにつきましては、引き続き行っていくというところで、高齢者向けの給付金について、敬老年金の支給を検討しています。対象となる 65 歳以上の高齢者が現在 387 名います。例えば支給の対象を 80 歳以上とした場合、対象となる方が 113 名いますので、一律で月額 1 万円としても年間 1,356 万円、月額 5 千円の場合でも 678 万円の支出が見込まれます。年齢分けした場合に、80 歳以上 90 歳未満の方は 66 名いますので、月額 5 千円支給の場合 396 万円、90 歳以上の

方が 47 名ですので、月額 1 万円支給した場合 564 万円で、年間 960 万円の支出となります。

財政的にも厳しい状況であり、今後、高齢者の比率も多くなっていく中で、継続して敬老年金を支給していくには、支給の年齢や支給額等の条件整備や、高齢者の現状調査も含め、今後も引き続き検討を行っていく予定であります。以上です。

■議長（金城信光） 上地議員。

■5 番 上地義則議員 新垣課長、ありがとうございます。そうですね、敬老年金という言葉が前回出て、初めて耳にして、高齢者の方々にも何かしらの支援があればとても助かるんじゃないかなということと前回やったところ、いろいろ調べていただいて、65 歳以上からということなんですよ。これをいろいろ踏まえて計画してもらっている中で、前回も話したとおり、物価もだいぶ高騰してしまっていて、4 月からはとらず園、社協（社会福祉協議会）のほうでは食費が上がっていますよね、100 円ずつ。ということは、三食なんで月 9 千円上がるということなんですよ。前回も話したんですが、一番多くもらう人でも年金が 280 万程度、一番低い人では本当に数万ですね。こういった方々が、今後本当に生活していけるかということが一番懸念されるところで、低所得者向けに低所得年金、年金の低所得者に関して何らかの補助というのは、急務でやっていけないかっていうのを伺いたしたいと思います。

■議長（金城信光） 答弁。

■新垣晃弘福祉保健課長 上地議員にお答えいたします。上地議員のおっしゃるように、一律でやってしまうと年金が多い方と少ない方で差があって、平等性をあまり感じないと。本当に低年金の方に対しては早急にやるべきかなと思っていますので、高齢者の現在の状況を把握して、どのように分配する、あるいは低所得者向け

に敬老年金を支給するということを検討していきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

■議長（金城信光） 上地議員。

■5番 上地義則議員 課長、ありがとうございます。副村長にも答弁を求めたいところなんです、前回、敬老年金という言葉が副村長の口から出た時に、伊平屋独自の施策となるということを聞いています。ある市町村では実際に行っている副村長から伺ってしまして、こういった方々に支給を早目にしてもらいたいという思いなんです、副村長、だいたいのおおよその目安でかまいませんので、いつぐらいからだ低年金者への給付等が可能なのか、もし答えられるのであれば答弁よろしくお願ひします。

■議長（金城信光） 答弁、副村長。

■金城時正副村長 上地議員の質問にお答へします。給付についての時期なんですけれども、村としては財政的に非常に厳しい時期であります。はっきりとは言えないんですけれども、9月決算をみて今年度から本当に可能かどうかは検討していきたいと思ひます。先ほどおっしゃったように、低所得者に限定されるんだったら可能性はあるのかなと思ひています。一律ではなく、低所得者という。あとは5千円にするのか1万円にするかも踏まえて、財政状況次第ですので、これから検討していきたいと思ひます。以上です。

■議長（金城信光） 上地議員。

■5番 上地義則議員 副村長、ありがとうございます。低年金所得者から先にできないかということで話させていただいたんですが、先ほど課長からもあったように、65歳以上からというのはハードルが高いとは思ひますが、低年金所得者から先にアクションを起こして、一律65歳以上からでもなんとか、財政も厳しい中なんです、9月の決算をみていろいろ検討してくれるということをいただきました。

ので、よろしくお願ひしたいと思ひます。また、村長の施政方針の中でも、高齢者が安心して生活できる環境とありますので、ぜひ実現してもらえよう、よろしくお願ひします。この質問に関しては終わります。